

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	1	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
防災行政無線施設事業					

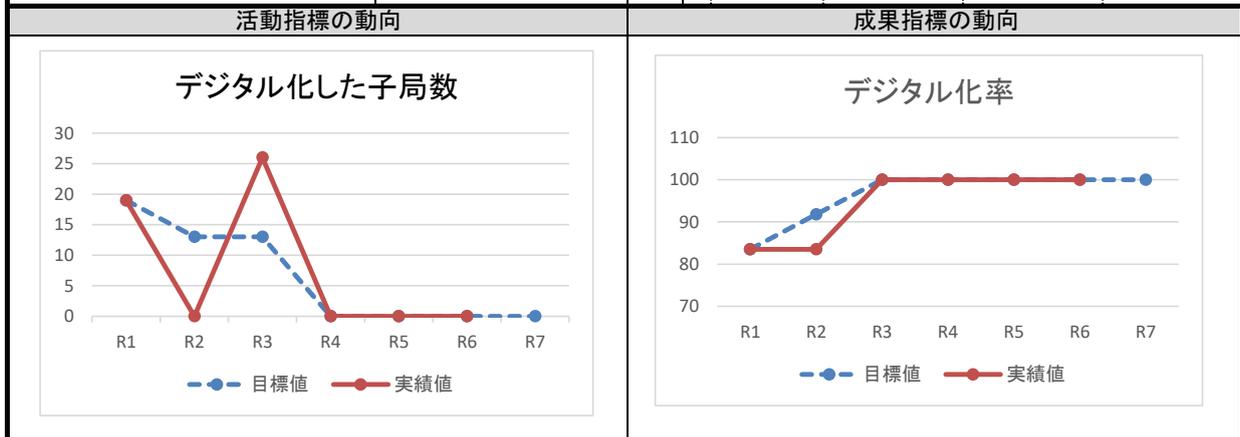
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	01	防災行政無線施設事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

実施計画整理番号	
401010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ確かな情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び電波環境改善工事を行い、災害情報を迅速かつ確に入手できる環境とするとともに、機能向上と難聴地域の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、難聴地域解消のための新設を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	災害情報伝達手段を強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	16,926	59,727	59,712	4,829	0	0			
	国補助	千円									
	県補助	千円	16,926		3,847						
	市債	千円		51,000	51,000						
	その他	千円		1,000	200						
	一般財源	千円		7,727	4,665						
	人工数	人		0.5			0.5				
人件費	千円		3,831			3,992					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、電波環境改善工事の実施	デジタル化した子局数	基	目標値	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-	
	電波改善工事	箇所	目標値	1	0	-	-
		実績値	1	-	-	-	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
難聴地域の解消	デジタル化率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	1	1	1	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防災行政無線施設事業

整理番号
401010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>災害発生時における市民への迅速かつ的確な情報伝達手段として整備している防災行政無線の正常な機能維持と障害発生時の未然防止のため保守点検の実施や無線が聞こえにくい方には戸別受信機の貸与に努めた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>これまでに、操作卓改修工事や親局の出力増強及び再送信子局の新設等行い、難聴地域解消に努めているが、市内全域での難聴地域解消に至っていない。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	引き続き、戸別受信機の貸与や安全・安心メール、茂原市公式SNS等、多様な情報伝達媒体の周知を図っていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>防災行政のデジタル化や機能向上により、災害情報の伝達に対して効果をあげていると認められる。引き続き難聴地域の解消に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
自主防災組織支援事業					

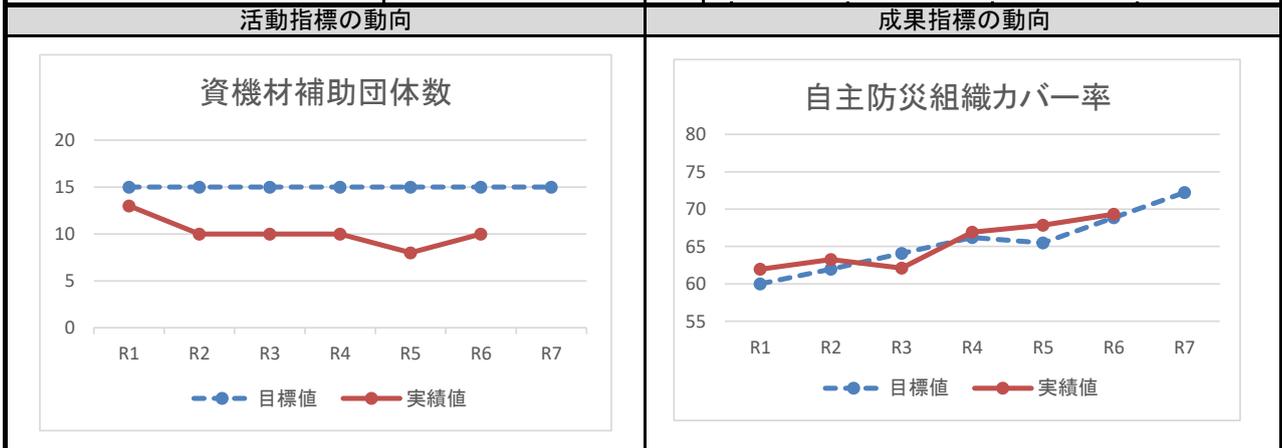
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	02	自主防災組織支援事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

実施計画整理番号	
401010201	
総合戦略整理番号	41101

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	新設自主防災会設立前には適宜、相談に応じ、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
自然災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限にするため、災害発生時に自ら考え行動できるように防災教育を推進するとともに、地域における自主防災組織の結成、活動を支援し、「自助」、「共助」の取り組みを強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,764	2,764	1,077	1,886	1,886	881			
	国補助	千円									
	県補助	千円	1,320		498	892	892	398			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,444	2,764	579	994	994	483			
	人工数	人		0.5		0.5					
	人件費	千円		3,831		3,992					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
自主防災組織へ資機材の補助及び出前講座の実施	資機材補助団体数	団体	15	15	15	15
		実績値	10	8	10	
	出前講座の実施回数	回	15	15	15	15
		実績値	11	11	18	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
自主防災組織の活動活性化	自主防災組織カバー率	%	66.19	65.47	68.84	72.21
		実績値	66.90	67.84	69.32	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	1	1	2	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	自主防災組織支援事業

整理番号
401010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 既存自主防災組織の資機材等に対する補助事業(10団体) 自主防災組織を対象としたリーダー育成研修会の開催 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>既存自主防災組織への資機材等の補助や出前講座の実施、リーダー育成研修会の開催によりリーダーとして必要な即断力、判断力などの育成を図ったことにより、地域の防災力の向上に寄与した。さらなる地域防災力向上のため、新規自主防災組織の設立や活性化につながる方策が必要である。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>活動が停滞している自主防災組織の活性化や新規自主防災組織の設立に際し、きっかけづくりに関与し、自主防災組織の活性化を図りたい。引き続き、出前講座等により自主防災組織の重要性についても啓発に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>自主防災組織への資材の補助や出前講座等により、地域防災力の向上に一定の効果があったと認められる。新規設立及び活性化施策の検討に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
浸水防止対策事業					

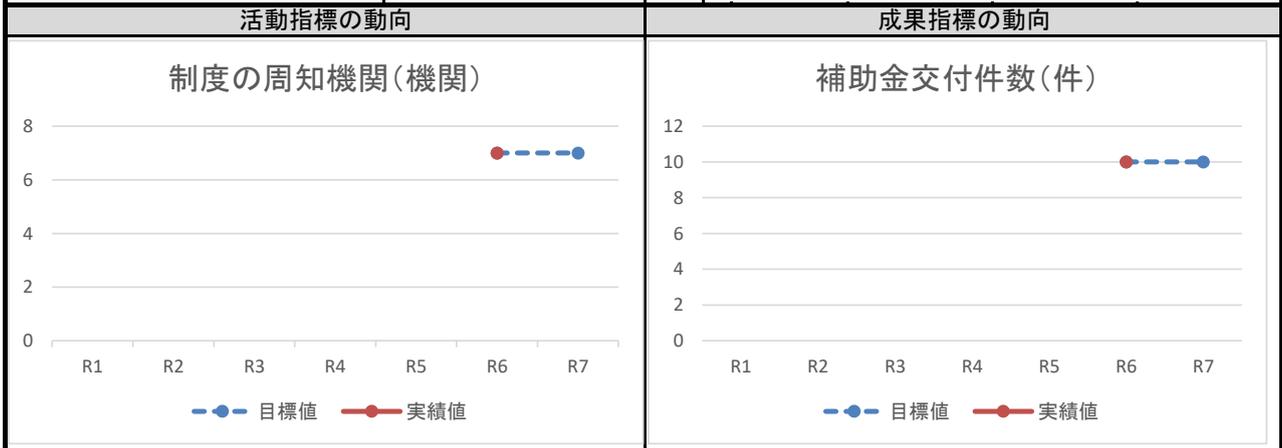
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	4	1	6	浸水防止対策事業	
担当課・係等					
建築課 住宅政策係					

実施計画整理番号	
401010202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>台風や大雨などによる浸水被害を防止又は軽減するため、止水壁(輪中堤)やかさ上げ等の浸水防止対策工事を実施する建物の所有者に対し、工事費用の一部を補助金する。これにより、現在実施している河川整備、内水対策に加え、市民一人ひとりが浸水被害の軽減策を講じることにより、安心して暮らし続ける住いづくりの防災強化が図られる。</p>	<p>浸水防止対策事業補助金の交付</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>浸水防止対策に係る費用の一部に対し補助金を交付することにより、市民の生命・財産を守り被害を最小限に抑えることで、住まいづくりの防災体制の充実に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円				5,000	5,000	4,761			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				5,000	5,000	4,761			
人工数	人				0.6						
人件費	千円				4,791						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
事業促進のため、市公式SNS・ウェブサイト・広報・自治会回覧で制度の周知を行う。併せて令和5年台風13号の被災者へのDMIにより周知・促進に努める。	制度の周知(回) (納税通知1回 公式SNS2回 広報2回 自治会回覧2回、他)	件		0	7	7
	ダイレクトメールの発送	件		0	2,000	0
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
浸水被害の防止・軽減が図られることにより防災体制の強化・充実に寄与する。	浸水防止対策事業補助金の交付件数	件		0	10	10
					10	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	1	1	2	浸水防止対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	4	1	6	浸水防止対策事業

整理番号
401010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・浸水防止対策補助金の周知(市公式ウェブサイト、市公式SNS、広報もばら4月1日号、自治会回覧4月4日、R6固定資産税納税通知同封、商工もばら4月15日号、一宮川流域通信4月号(県))
- ・浸水防止対策補助金の受付、交付

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

当初予算額を上回る相談件数があり市民の関心は高いが、水害による浸水件数に対する補助金の交付件数は少ない。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑥その他

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

現在行われている河川改修工事の成果を踏まえつつ、継続的に取組む。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
	浸水防止対策に係る費用の一部補助をすることにより、住まいづくりの防災体制の強化・充実に一定の成果があったと認められる。引き続き、現在行われている河川改修工事の成果を踏まえつつ、事業実施に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	3	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
災害非常用対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	03	災害非常用対策事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

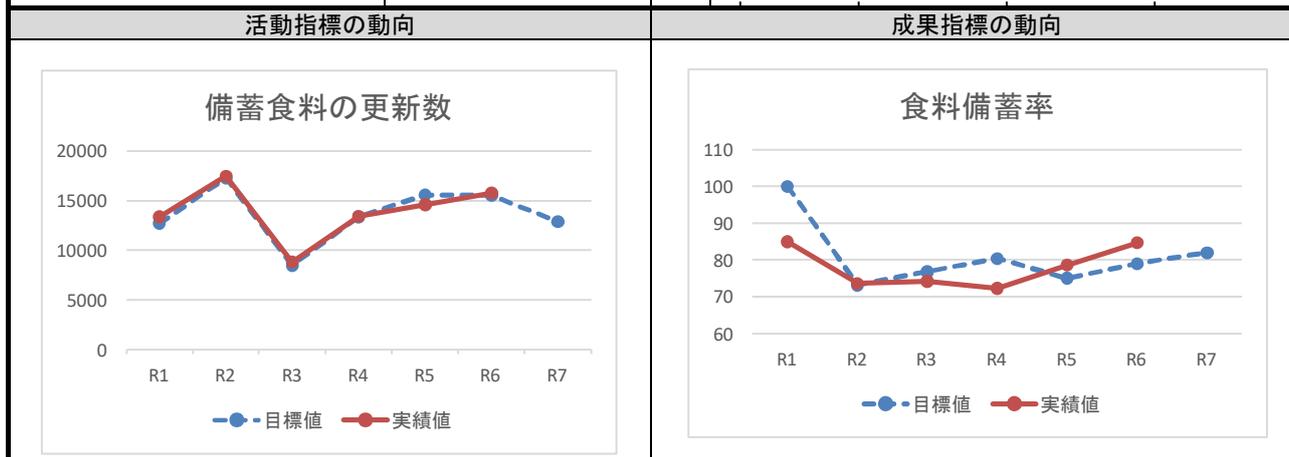
実施計画整理番号	
401010301	
総合戦略整理番号	41103

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	災害時に速やかに防災体制を確立し、市民が迅速な災害情報の受信及び災害備蓄品の提供を受けられるようにする。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護を受けられるようにする。	地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の改定、広域医療救護所の整備費補助等の災害対策事業を行い、被害の軽減や医療救護体制の整備を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

災害応急体制の充実として、高齢者等の要配慮者に対応した避難所の整備を実施している。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護体制の整備を実施しており、施策「防災体制の充実」に寄与している。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	11,242	11,242	9,573	12,263	12,263	10,281			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	11,242	11,242	9,573	12,263	12,263	10,281			
	人工数	人		0.9		0.9					
	人件費	千円		6,896		7,186					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
備蓄食料の計画的な更新等により、災害備蓄品を整備する	備蓄食料の更新数	食	目標値	13,378	15,570	15,530	12,880
		実績値	13,440	14,580	15,750		
		目標値					
		実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
備蓄食料の拡充を図ることで、災害時に市民が災害備蓄品の提供を受けられる環境を整備する	食料備蓄率	%	目標値	80.43	75	79	82
		実績値	72.23	78.63	84.65		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	1	1	3	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	災害非常用対策事業

整理番号
401010301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・備蓄食料及び毛布の更新
- ・地域防災訓練の実施(新治地区・本納地区)
- ・もばら安全安心メール等、情報伝達手段の加入促進及び啓発
- ・広域医療救護所のデッドストック更新(長生病院)

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

災害時に必要となる備蓄品の更新や直近動員等による備蓄品の点検を行うことで、備蓄倉庫の整備状況を確認することができた。ただし、備蓄品等の点検には、多くの時間や作業人数を要す。備蓄品の価格高騰により計画通りの食数更新に支障をきたす可能性がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、職員だけではなく、地域の防災組織と連携し、備蓄倉庫の点検を行っていく。また、備蓄食料の更新にあっては、価格高騰の状況を注視し、より長期保存可能な品物の検討など行う。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 備蓄品の整備等により、災害時の体制整備に一定の効果을挙げていると認められる。引き続き災害体制の整備に努めるとともに、物価高騰の状況を注視した備蓄の検討にも努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	1	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路改良事業					

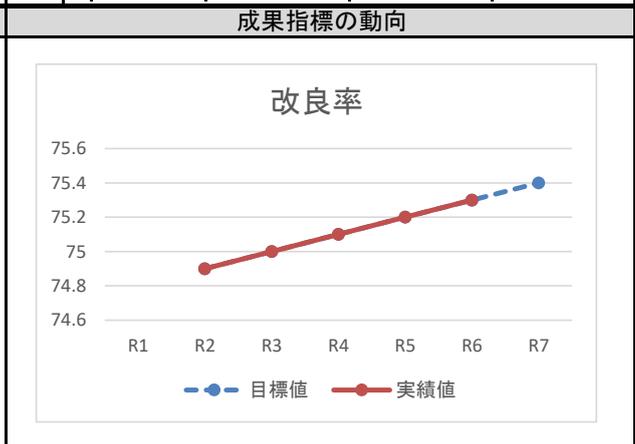
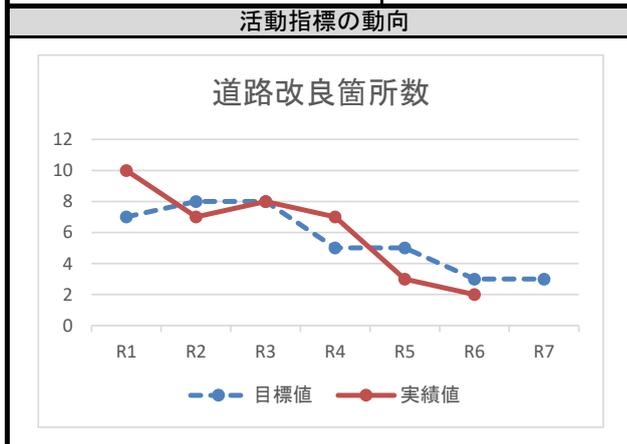
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	01	道路改良事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路整備を行うことで、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事の施行管理を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
道路は、交通機能・空間機能を有し、人々の生活や経済活動に不可欠な社会基盤として、大きな役割を果たしている。人にやさしい道路の整備により、市民生活の安全を確保する事につながり、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	636,629	678,360	313,849	558,000	914,691	568,404			
	国補助	千円	170,087	180,659	105,469	163,000	237,887	137,042			
	県補助	千円	309,250	319,879	100,170	259,000	436,662	318,833			
	市債	千円	139,500	152,700	90,300	122,400	178,700	101,000			
	その他	千円									
	一般財源	千円	17,792	25,122	17,910	13,600	61,441	11,529			
	人工数	人	1.9			1.55					
	人件費	千円	12,970			11,664					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
道路改良事業を進めることで、市民生活の安全確保に努める。	道路改良箇所数	か所	目標値	5	5	3	3
			実績値	7	3	2	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
			改良率	%	75.1	75.2	75.3
道路改良事業を進め、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	改良率	%	目標値	75.1	75.2	75.3	75.4
			実績値	75.1	75.2	75.3	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	2	1	1	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

整理番号
402010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市道2級5号線(茂原)において、橋梁下部工及び橋梁上部工を完成させた。また、明治橋両岸の護岸工の一部を完成させ、道路工を発注した。 ・市道3級8097号線(早野)において、橋梁下部工を発注した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備として、目標としていた3箇所以上の道路改良が実施できなかった。 ・住民要望は増加しており要望に対する進捗が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 道路改良事業の推進により、生活道路の整備に一定の成果があったと認められる。増加している住民要望に対し、限られた予算の中で、交付金の活用等、より効果的な事業推進方法の検討に努めていただいた。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路橋梁維持補修費					

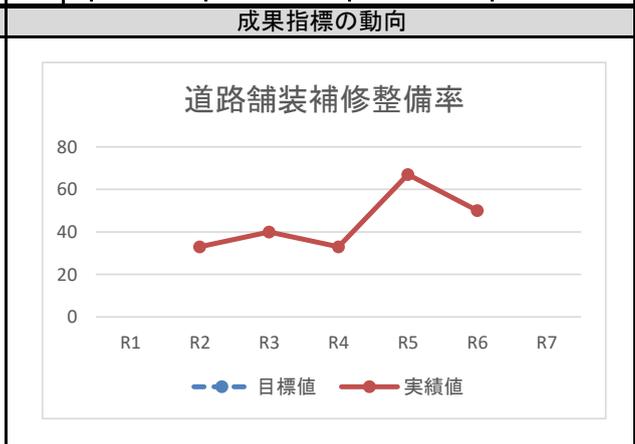
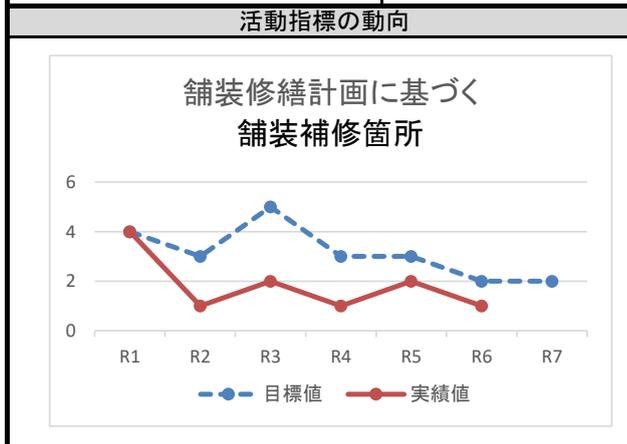
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

実施計画整理番号	
402010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路補修を実施することで、交通の円滑化と事故防止、その上、生活環境の保全が図られる。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路に関連する社会インフラ施設の管理及び維持補修を行う事により、交通の円滑化や事故防止、更には生活環境の保全が図られることで、ひいては、施策「生活道路の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	127,315	143,922	84,168	67,043	106,126	95,399			
財源内訳	国補助	千円	29,711	30,186	11,908	4,235	4,235	14,832			
	県補助	千円									
	市債	千円	54,400	54,400	34,500	34,500	34,500	48,700			
	その他	千円				7,656					
	一般財源	千円	43,204	59,336	37,760	20,652	67,391	31,867			
人工数	人		3.3		3.3						
人件費	千円		25,285		26,352						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
道路の点検を行い、各施設の修繕計画を作成すると共に、計画に基づき修繕や維持管理を行う。	舗装修繕計画に基づく舗装補修箇所	路線	3	3	2	2
		実績値	1	2	1	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		%	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	33	67	50	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	2	1	2	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号
402010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・道路調査設計業務 1件 ・トンネル点検業務 1件 ・道路舗装補修工事(1・2級及び幹線道路) 1路線 ・道路舗装補修工事(その他市道) 4路線 ・道路維持補修工事 10箇所 ・トンネル補修工事 2箇所 ・各種道路補修材購入 1式 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・当初の予算どおりに実施された事業については一定の成果が得られているが、各種インフラ施設の老朽化が進んでおり、老朽化の速度と修繕とのバランスが取れていないため、応急処置に留めた箇所や対応できない箇所が増加しており、対応に苦慮している。</p> <p>・抜本的な補修が困難で応急補修に留めた箇所については、舗装剥離や陥没等が再発しやすい傾向にあり、これらが起因した事故に発展するケースもあり、道路利用者の安全性が危惧される。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・補修や修繕においては、耐久性の高い材料やコスト縮減が可能な工法の採用などを組み合わせ、効率の高い補修及び修繕を行う。</p> <p>・老朽化と補修対応のバランスが取れるような予算確保に努めると共に、緊急性や必要性を考慮しながら、有効かつ効果的な対応を行う。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>道路の維持補修に係る事業の推進により、生活道路の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で、老朽化と補修対応について、緊急性や必要性を考慮しながら、補助金を含めたより効率的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
橋梁長寿命化修繕事業					

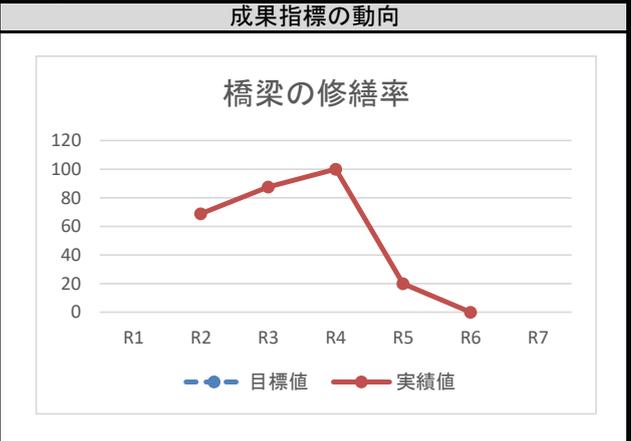
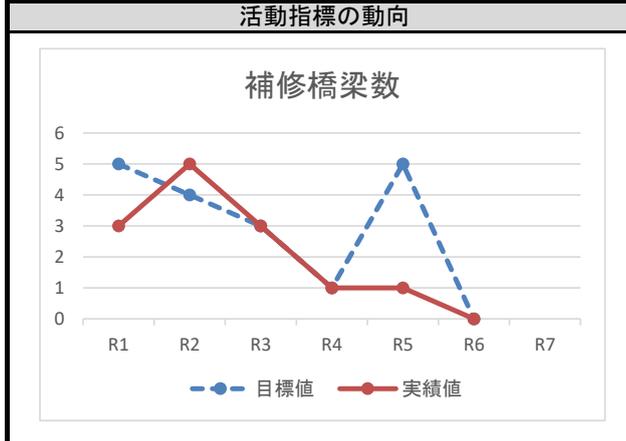
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

実施計画整理番号	
402010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
橋梁長寿命化修繕計画を基に、構造物の長寿命化を図り、維持管理費のコスト縮減を考慮しながら修繕を実施している。社会資本インフラ施設の整備・保全を行う事で、安全性や利便性の向上が見込まれ、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度			
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
財源内訳	事業費		千円	158,136	125,279	42,027	22,330	22,330	21,120			
	国補助	千円	86,974	68,903	23,115	12,281	12,281	9,518				
	県補助	千円										
	市債	千円	44,200	37,100	4,000							
	その他	千円										
	一般財源	千円	26,962	19,276	14,912	10,049	10,049	11,602				
	人工数		人	1.4			1.4					
	人件費		千円	10,727			11,180					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
橋梁長寿命化修繕計画を基に、緊急性などを考慮しながら、定期的な点検や補修を行う。	補修橋梁数	橋	目標値	1	5	-	-
			実績値	1	1	-	-
地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	橋梁の修繕率 (早期に措置を講ずべき状態(Ⅲ判定以上))	%	目標値	増加を目指します	増加を目指します	点検におけるⅢ判定以上の補修を行う	点検におけるⅢ判定以上の補修を行う
			実績値	100	20	-	-



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	2	1	2	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号
402010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検を実施した。

橋梁点検数 22橋

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・橋梁については、5年に1度の点検が義務付けられている為、全182橋を5分割し毎年実施しているが、点検の結果、修繕が必要と認められた場合(Ⅲ判定以上)、補修工事に必要な設計業務を委託発注しなければならず、修繕費以外にも比較的大きな費用が必要である。
 ・本市の橋梁長寿命化修繕計画においては、Ⅱ判定以下の橋梁について予防保全措置を講じることで、維持管理費の軽減を図っているが、他のインフラ施設についても老朽化が進んでおり、多数の箇所において補修が必要な状況となっていることから、予算確保が難しく、計画の通りに事業を進めることが困難となっている。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・成果指標としていたⅢ判定以上の橋梁補修は今年度末で2橋となっているが、道路等他のインフラ施設も補修が必要であるため、橋梁については、義務化されている点検を引き続き実施していく。
 ・点検においてⅢ判定以上の橋梁は、緊急性を考慮しながら、適宜補修等の対応を行っていく。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	橋梁の点検等に係る事業の実施により、生活道路の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で、緊急性を考慮しながら、事業推進方法の検討に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	1	2	河川等	河川の整備
実施計画事業名					
河川改修事業					

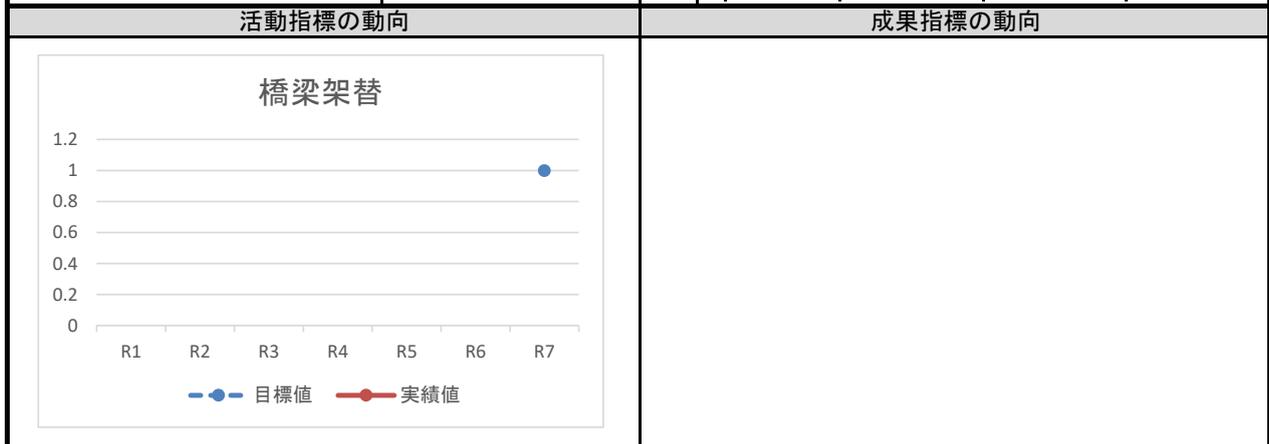
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	03	01	河川改修事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

実施計画整理番号	
403010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	準用河川の護岸整備及び橋梁架替等を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
河川は、治水・利水機能のほか、防災・環境保全など様々な機能を果たしている。河川改修を進め、流域の浸水被害を軽減することにより、安全で豊かな地域社会を保全することにつながり、ひいては、施策「河川の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	16,000	72,000	57,395	70,500	70,500	14,446		
国補助		千円	8,800	28,925	23,299	23,500	23,500	4,815			
県補助		千円									
市債		千円	6,400	42,200	33,500	42,300	42,300	8,600			
その他		千円									
一般財源		千円	800	875	596	4,700	4,700	1,031			
	人工数	人	0.9			0.7					
	人件費	千円	6,896			5,590					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
護岸整備及び橋梁架替を実施する。	護岸整備	目標値		0	0	0
		実績値		0	0	
	橋梁架替	目標値		0	0	1
		実績値		0	0	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	床上・床下浸水戸数の減少	目標値		減少を目標します	減少を目標します	減少を目標します
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	3	1	2	河川改修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
403010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・第2石川橋架け替えに伴う上部工の積算業務委託を実施した。また、右岸下部工事を発注した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>物価や人件費が高騰しているため、今後も多額の費用が必要となることが考えられる。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>今後も国の交付金を活用するなどの財源を確保するとともに、より効率的な工法等について検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>護岸整備等に係る事業の実施により、河川の整備に一定の成果があつたと認められる。物価や人件費が高騰しているなかで、交付金を含め、より効果的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	2	1	河川等	内水対策の推進
実施計画事業名					
内水対策関連事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業
担当課・係等				
土木建設課 河川整備係				

実施計画整理番号	
403020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	内水氾濫による家屋等の浸水被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設等を設置し早期に被害軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年の気候変動に伴い、水災害が激甚化、頻発化していることから、浸水被害が大きい地区に排水ポンプ施設等を設置し、内水氾濫による家屋等の浸水被害を軽減することにより、生命・財産を守り、ひいては施策「内水対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	288,992	565,210	329,009	528,314	729,958	441,738			
	国補助	千円									
	県補助	千円	16,412	20,372		2,800	11,963	11,671			
	市債	千円	272,400	544,500	327,400	525,400	689,700	429,700			
	その他	千円									
	一般財源	千円	180	338	1,609	114	28,295	367			
	人工数	人	2.2			2.4					
	人件費	千円	16,856			19,165					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
内水排除ポンプや排水路等の整備を進める。	鷺巣稲荷前水門ポンプゲートの完成		目標値				
			実績値				
	排水路整備		目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
家屋等の浸水被害の軽減	床上・床下浸水戸数の減少		目標値	減少を目標します	減少を目標します	減少を目標します	減少を目標します
			実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向				

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	3	2	1	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

整理番号
403020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・東茂原地先の排水路整備は令和5年度から令和6年度の債務負担行為によるその3工事が完了し、令和6年度から令和7年度の債務負担行為によるその4工事に着手し、令和7年度完成予定。
 ・大芝樋管改修工事は、一部管理用通路工等の一部工事が繰越となったが、令和6年度末に概成した。
 ・令和5年9月8日の大雨に対する総合的内水対策検討を委託した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・今後も内水排除ポンプ等の施設整備に多額の費用を要することが考えられる。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・国・県の交付金等活用するなど財源の確保に努めるとともに、より効率的な工法等について検討する。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当

排水ポンプ施設の設置に向けた事業実施により、内水対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で、補助金の活用も含め、より効率的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	2	2	河川等	内水対策の推進
実施計画事業名					
田んぼダム促進事業					

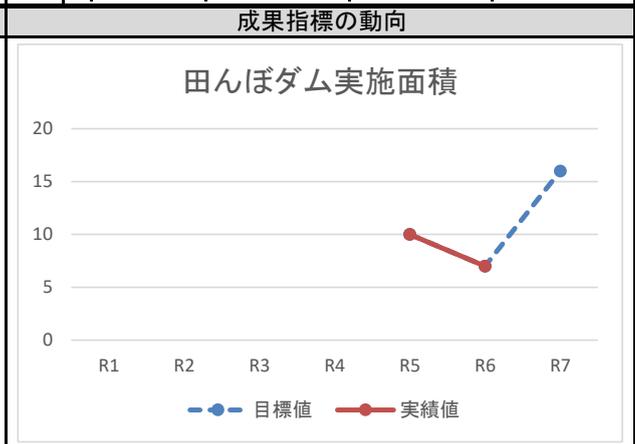
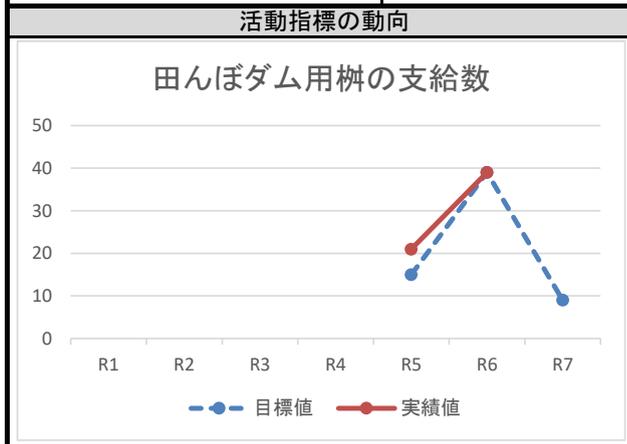
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	1	5	5	田んぼダム促進事業	
担当課・係等					
農政課基盤整備係					

実施計画整理番号	
403020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	田んぼダムの促進により浸水被害を軽減する。	田んぼダムの取り組みに必要な柵等の資材支給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
近年、水害が激甚化・頻繁化している状況や気候変動の影響により、今後の降雨量や洪水頻度の増加が懸念されている。今後は、河川整備による治水対策だけに頼るのではなく、田んぼを活用した雨水流出抑制となる田んぼダムを促進することにより、大雨時の浸水被害を軽減し、ひいては「内水対策の推進」に寄与する。		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円				1,260	1,260	1,156			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円				629	629	578			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				631	631	578			
人工数	人				0.95						
人件費	千円				7,586						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
田んぼダム用柵の設置を促進し、取組面積を拡大する。	田んぼダム用柵の支給数	個		15	39	14
		実績値		21	39	
	目標値	個				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
田んぼダム用柵を支給し、田んぼダムによる内水対策を図る。	田んぼダム実施面積	ha		10	7	16
		実績値		10	7	
	目標値	ha				
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	3	2	2	田んぼダム促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	1	5	5	田んぼダム促進事業

整理番号
403020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダム用柵を早野地区に37個、立木地区に2個支給し、取組面積を約7ha拡大した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<h2 style="margin: 0;">A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</h2>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・資材支給となるため、取り組む耕作者の労務費の確保が問題となる。 ・必要性の周知不足。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度までとなる、千葉県田んぼダム導入支援事業での労務費補償を協議する。 ・啓発活動の実施により、取組面積の拡大を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p style="margin: 0;">A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p style="margin: 0;">柵等の資材支給により内水対策の推進に一定の効果があつたと認められる。引き続き、啓発活動の実施により、取組面積の拡大に努めていきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	1	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	02	防犯対策事業	
担当課・係等					
生活課 生活安全係					

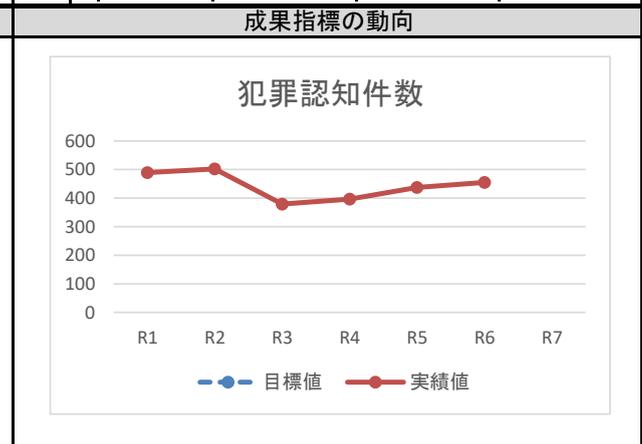
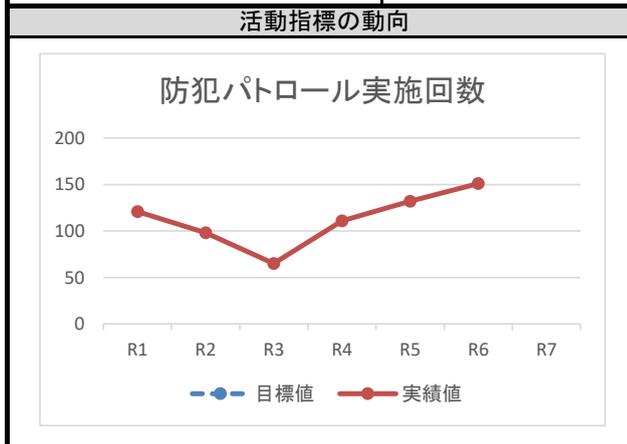
実施計画整理番号	
404010101	
総合戦略 整理番号	41201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

安全で安心な地域づくりには、継続的な取り組みが必要である。防犯パトロールの実施や防犯関係団体への活動を支援することで、地域の防犯活動の活性化に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	3,064	3,158	2,964	3,232	3,232	3,099		
国補助		千円									
県補助		千円	78	78	78	114	114	114			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	2,986	3,080	2,886	3,118	3,118	2,985			
	人工数	人	0.9			1.5					
	人件費	千円	6,896			11,978					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
防犯組合、自主防犯団体等と連携し、年間を通じた防犯パトロールを実施することで、防犯対策の充実を図る。	防犯パトロール実施回数	回	増加を目標 指し 実績値 111	増加を目標 指し 実績値 132	増加を目標 指し 実績値 151	増加を目標 指し 実績値	
		回	30 実績値 76	35 実績値 57	60 実績値 38	65 実績値	
	成果	成果指標	件	減少を目標 指し 実績値 396	減少を目標 指し 実績値 437	減少を目標 指し 実績値 455	減少を目標 指し 実績値
			件				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	4	1	1	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	防犯対策事業

整理番号
404010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールについては、茂原市防犯組合防犯指導員120名により、1年間で合計131回実施した。 ・茂原市防犯組合防犯指導員及び茂原警察署と連携し、合同防犯パトロールを12日間実施した。 ・防犯組合、自主防犯団体を対象にした「防犯研修会」を開催した。 ・「電話de詐欺」防止広報啓発活動については、もばら安全安心メールを活用した情報提供、年金支給日には市内商業施設、市内金融機関での街頭啓発を実施した。 ・「電話de詐欺」防止の新たな取り組みとして、年金支給日の2週間前から商業施設にあるATM前に、「電話de詐欺」防止のぼり旗を設置し注意喚起を行った。 ・茂原警察署と連携し、小中学生を対象とした防犯教室を合計12校で実施した。 ・不審者情報に基づき、もばら安全安心メールを活用し、速やかに注意喚起を行った。 ・生活課職員による夜間防犯パトロールを実施した。 ・犯罪認知件数は昨年に比べ増加しているが、5年間の推移で比較すると減少傾向にある。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・安心で安全なまちづくりには、茂原市防犯組合による防犯パトロールのほかに自主防犯団体による防犯パトロールも重要になっているので、団体数を増やしていく必要がある。 ・もばら安全安心メール活用の他、効果的な情報発信方法を検討する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の情報発信方法以外に、市公式SNSを活用し、幅広い年代に情報発信を行う。 ・自主防犯団体の結成について、他自治体の手法等を調査するとともに、自治会回覧を活用した「生活安全だより」において、自主防犯団体の活動状況を紹介するなど、結成促進に取り組む。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 防犯パトロール等各種防犯対策活動を行うことで、市民の防犯意識の高揚に一定の効果があったと認められる。今後は市公式SNS等を活用し、効果的な周知・啓発方法の検討に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	2	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯設備設置・管理費					

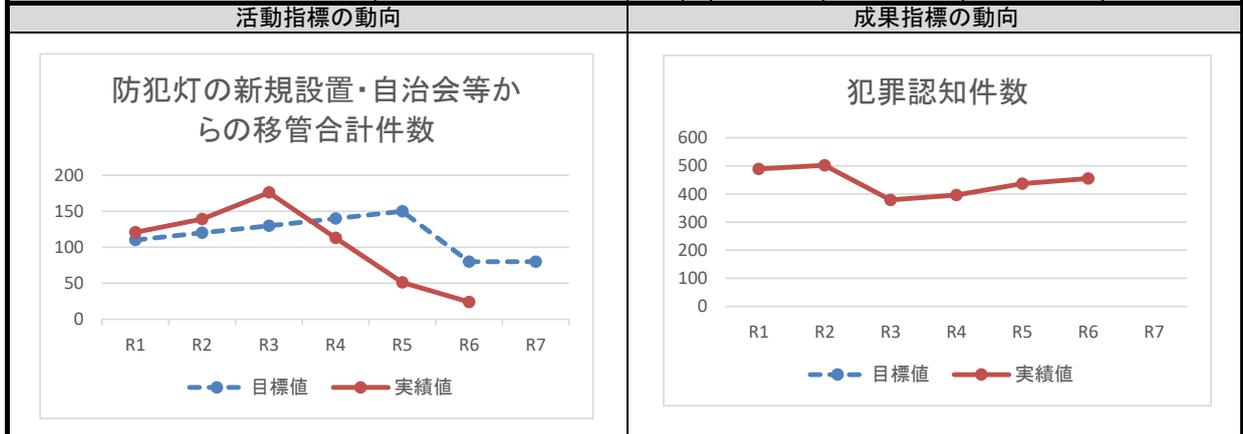
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費	
担当課・係等					
生活課 生活安全係					

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	41203

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置、維持管理 防犯カメラの設置、維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
防犯灯や防犯カメラについては、防犯上危険と認められる箇所への設置など適正な配置に努める必要がある。また、自治会が所有する防犯灯の維持管理費を補助することで、地域の防犯力の向上に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	30,529	30,529	23,308	26,988	26,988	25,509			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	30,529	30,529	23,308	26,988	26,988	25,509			
	人工数	人		1.4			1.2				
	人件費	千円		10,727			9,583				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内に防犯灯や防犯カメラを設置及び維持管理することで、防犯対策の充実を図る。	防犯灯の新規設置・自治会等からの移管合計件数	目標値	140	150	80	80
		実績値	113	51	24	
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
防犯上必要と考えられる箇所へ防犯灯及び防犯カメラを設置することで、市民が安全で安心して暮らせるようにする。	犯罪認知件数	目標値	減少を指します	減少を指します	減少を指します	減少を指します
		実績値	396	437	455	
		目標値				
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	4	1	2	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費

整理番号
404010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯新規設置要望に伴い、夜間現地調査を行い、合計22箇所に防犯灯を設置した。 防犯カメラの画像管理を徹底するため、通年で合計66台の画像確認を実施した。 捜査機関に対し、合計183件の防犯カメラの画像を提供した。 犯罪認知件数は昨年に比べ増加したが、5年間の推移で比較すると減少傾向にある。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> LED防犯灯は、設置から10年以上経過しており、不点灯件数の増加が見込まれ、市内の安全安心を確保するには、防犯組合等に防犯パトロールに合わせ不点灯調査を依頼する必要がある。 商店会解散に伴い、商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合の防犯対策について検討する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯組合や自主防犯団体に、防犯パトロールに合わせ不点灯調査を依頼する。 商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合、撤去前の街路灯の明るさを復元するには、防犯上必要な箇所に設置する市生活課の防犯灯では不十分であり、なお且つ設置目的が異なるため、市商工観光課、商工会議所、商店会連合会と定期的に意見交換を実施する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 防犯設備の設置及び維持管理を行うことで、地域の防犯力の向上に一定の効果があったと認められる。引き続き関係各所と連携を密に図り、適切な設置・管理に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	1	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全対策事業					

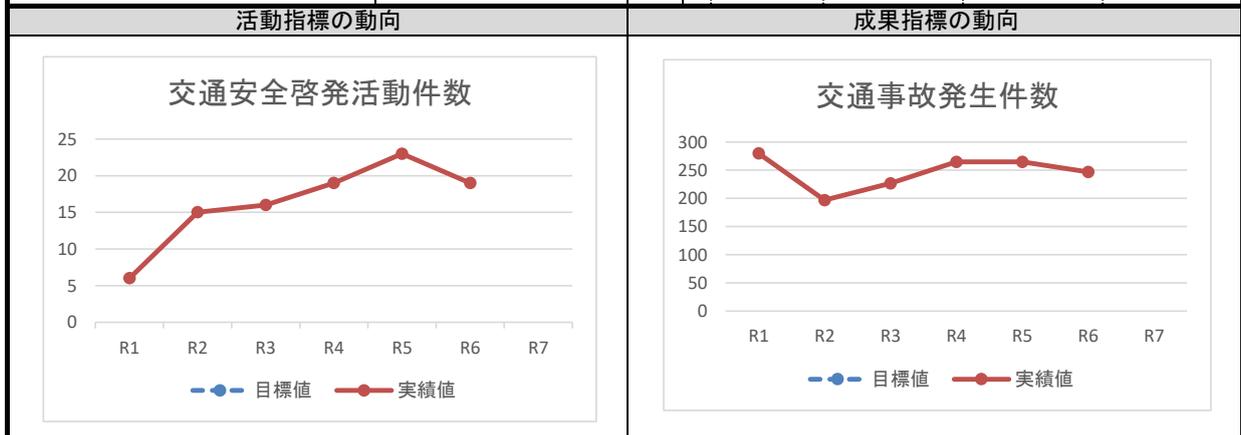
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	11	01	交通安全対策事業	
担当課・係等					
生活課 生活安全係					

実施計画整理番号	
405010101	
総合戦略整理番号	42101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
交通事故を防止するためには、継続的な取り組みが必要となる。四季の交通安全運動の実施や各世代における交通安全教室等を実施することで、交通安全意識の向上に繋がり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	432	432	409	420	420	410			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	432	432	409	420	420	410			
	人工数	人		0.7		1.3					
	人件費	千円		5,364		10,382					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及や、啓発活動等を実施することで、交通安全対策の充実を図る。	交通安全啓発活動件数	件	増加を目標します 実績値 19	増加を目標します 実績値 23	増加を目標します 実績値 19	増加を目標します
	交通安全教室開催回数	回	増加を目標します 実績値 15	増加を目標します 実績値 17	維持します 実績値 14	維持します
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内幼稚園、小中学校において交通安全教室の開催、四季を通して交通安全啓発活動をすることで、交通安全思想の高揚を図る。	交通事故発生件数	件	減少を目標します 実績値 265	減少を目標します 実績値 265	減少を目標します 実績値 247	減少を目標します



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	5	1	1	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	01	交通安全対策事業

整理番号
405010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間に発生する交通事故を防止するため、チラシや反射タスキ等を配布するなど啓発活動に取り組んだ。 ・茂原警察署と連携し、毎月「交通安全の日」に、交通量の多い通勤通学の時間帯に、市内主要交差点において街頭啓発を実施した。 ・四季の交通安全運動期間中、市役所前交差点・市役所市民広場に横断幕等の設置、市公式ウェブサイト、広報もばら等を活用した広報活動を実施した。 ・交通死亡事故防止を目的とし、茂原警察署と合同で市内商業施設において街頭啓発を実施した。 ・飲酒運転根絶を目的とし、市内主要交差点において街頭啓発を実施した。 ・交通事故発生件数は昨年より減少となった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日から自転車乗車用ヘルメット着用の努力義務が課され啓発活動や自転車乗車用ヘルメットの購入費用の補助等に取り組んだが、依然として着用率は低いため、取り組みの見直しを検討する必要がある。 ・飲酒運転による事故や高齢ドライバーによる事故を減少させるためには、新たな取り組みを検討する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット非着用による自転車死亡事故の割合が高いことを周知するため、集客力の高い商業施設や、JR茂原駅等で啓発物資やチラシ等の配布、市公式SNSを活用し幅広い年代に対し継続的な広報活動を行う。 ・茂原警察署と連携した啓発活動回数を増やし、市民の交通安全意識の向上に取り組む。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>交通事故発生件数が減少しており、交通安全啓発活動等により交通安全思想の高揚に一定の効果があったと認められる。引き続き啓発活動に努めるとともに、市公式SNS等を活用した効果的な周知方法及び事故減少のための取り組みの検討に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	1	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全対策事業					

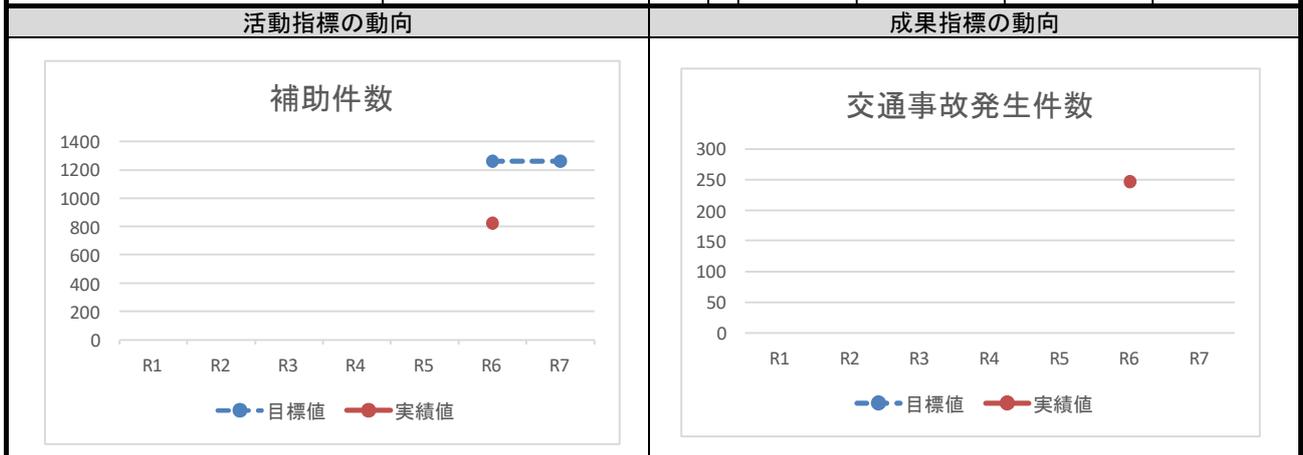
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	1	11	1	交通安全対策事業	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	405010101
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車利用者に対して、自転車用ヘルメットの着用普及を図る。	・自転車用ヘルメット購入者への購入費用補助
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	自転車用ヘルメットの購入費用を補助することでヘルメット着用を促進し、交通安全意識の向上及びヘルメット着用への気運を高める。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円				2,520	2,520	1,648			
	国補助	千円									
	県補助	千円				1,260	1,260	824			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				1,260	1,260	824			
	人工数	人				1.3					
	人件費	千円				10,382					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
自転車用ヘルメットの購入費用を補助する。	補助件数	人	目標値			1,260	1,260
			実績値			824	
		目標値					
		実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
自転車用ヘルメットの購入費用を補助することでヘルメット着用を促進し、交通安全意識の向上を図る	交通事故発生件数	件	目標値			減少を目指します	減少を目指します
			実績値			247	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	5	1	1	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	1	11	1	交通安全対策事業

整理番号
405010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・広報やウェブサイト等の広報媒体での周知の他、自治会への回覧文書の配布や市営駐輪場や茂原駅前における街頭啓発、市内の自転車用ヘルメット販売店へのポスター掲示依頼を実施。</p> <p>・市職員に対して、駐輪場での啓発活動及び庁内情報システムを活用した広報啓発活動を実施。</p> <p>・若年層への啓発として、市内の幼稚園、保育所、各小中学校へチラシの配布(小学6年生には再度、中学に進学する前に個別周知)、学生服販売店へのポスター掲示の依頼を実施。</p> <p>・以上の周知、啓発活動を実施し、824件に対する補助を行った。(0～15歳:466件、16歳以上:358件)</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>10月から事業開始したことにより事業期間が短期間であったことや、「世間での着用率が低い」「身だしなみに影響がでる」などヘルメットの着用には抵抗がある意見もあることから、見込んでいたよりも補助件数は伸びなかった。</p> <p>また、個別に周知啓発を行った保育所、幼稚園、小中学校の児童、生徒には多くの申請があったが、個別に周知啓発を実施していない高校生以上の申請は少なかった。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・自転車運転時のヘルメット装着の重要性と事業実施の周知啓発を継続的に行っていく事でヘルメット装着者の増加に繋げていく。</p> <p>・自転車に乗車する機会が多い高校生への周知や幼児から小学生の保護者などに向けて継続的な周知啓発を行い、事業の重要性等を周知していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>交通安全意識の向上及びヘルメット着用への気運向上に一定の効果があったと認められる。引き続き、自転車用ヘルメットの購入費用を補助することでヘルメット装着の重要性について、周知啓発に努めていただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設の整備					

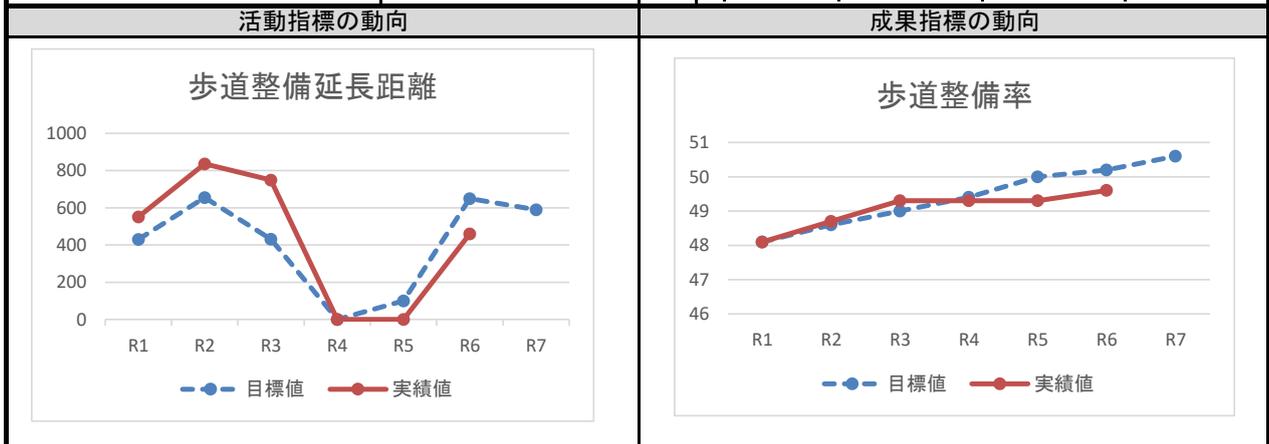
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	04	02	交通安全施設整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

実施計画整理番号	
405010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車歩行者道等の整備を計画的に推進することで、歩行者、自転車の安全が確保される。 バリアフリーに配慮した歩道の整備を推進することで、高齢者や障害者をはじめ、全ての人々が安全安心に通行できるようにする。	歩道の工事等を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
交通安全施設の整備により、歩行者、自転車の安全を確保する事につながり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	161,700	177,148	94,137	288,600	394,606	205,965			
	国補助	千円	68,200	76,090	40,165	150,865	202,641	106,035			
	県補助	千円									
	市債	千円	84,000	90,600	48,000	123,700	172,300	89,300			
	その他	千円									
	一般財源	千円	9,500	10,458	5,972	14,035	19,665	10,630			
	人工数	人	1.7			2.25					
	人件費	千円	11,835			16,684					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
交通安全施設整備事業を進めることで、歩行者、自転車の安全確保に努める。	歩道整備延長距離	m	目標値	100	650	590
		実績値	0	460		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	49.4	50.0	50.2
交通安全施設整備事業を進め、通行の安全・安心が図られる。	歩道整備率	%	実績値	49.3	49.3	49.6



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	5	1	2	交通安全施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

整理番号
405010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市道1級17号線(本納)の付帯工事を完了させた。 ・市道3級6101号線(谷本)の歩道整備工事、信号移設工事を発注した。 ・市道1級8号線(早野)の歩道整備工事を発注した。 ・市道3級8158号線(早野)の令和6年度分の道路拡幅工事を完了させた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の整備として、目標としていた事業ができたが、工事の一部を繰越することとなった。 ・交通安全に関する住民意識・要望は増加しており、事業者増による対策が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 交通安全施設整備に係る事業の推進により、交通安全対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で、交付金の活用も含め、より効率的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設管理事業					

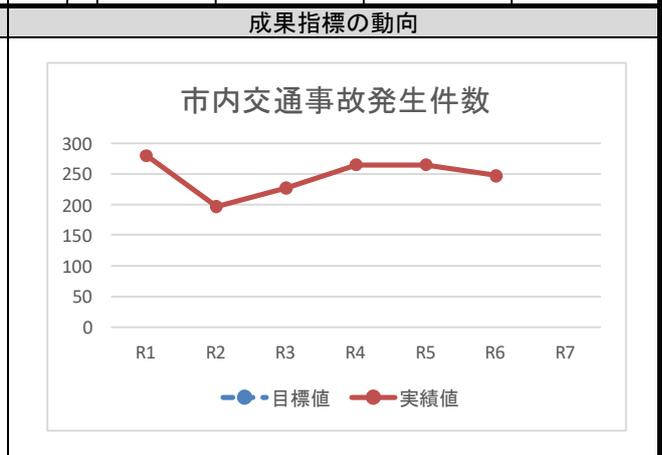
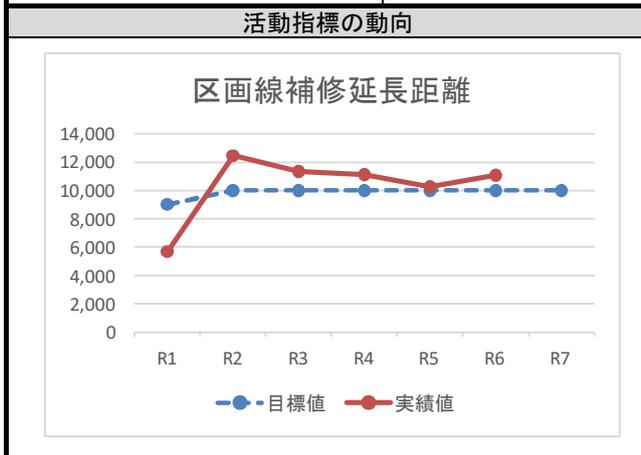
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	04	01	交通安全施設管理費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

実施計画整理番号	
405010202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行うことで、交通事故防止が図られる。	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
全ての道路利用者が安全安心に通行出来るよう、標識やカーブミラーなどの安全施設の整備をはじめ、歩道整備やバリアフリー化を推進していくことで、道路交通における安全性を向上させ、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与している。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	11,186	47,595	47,024	23,152	24,450	23,604			
	国補助	千円		19,517	19,604	6,050	6,050	6,050			
	県補助	千円									
	市債	千円		15,900	15,900	5,100	5,100	4,600			
	その他	千円				10,912					
	一般財源	千円	11,186	12,178	11,520	1,090	13,300	12,954			
	人工数	人		0.95		0.95					
	人件費	千円		7,279		7,586					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
区画線の引き直しや、標識・カーブミラーの設置を行い、各種交通に対する安全性の向上に努める。	区画線補修延長距離	m	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績値	11,120	10,266	11,064	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
道路における各種安全施設の適切な補修や維持管理により、安全安心な交通が確保され、交通事故防止が図られる。	市内交通事故発生件数	件	目標値	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値	265	265	247	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	5	1	2	交通安全施設管理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
405010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・区画線引き直し L=11,064m ・歩行スペース確保(グリーンベルト) A=162.0m² ・歩行スペース確保(側溝蓋掛け) N=153枚 ・カーブミラー新設・補修 N=23基 ・注意看板新設・補修 N=9基 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や公共機関周辺及び幹線道路を中心として区画線引き直しを実施しているが、市内各所で道路の傷みが激しく、区画線引き直しが難しい場所も存在し、多くの路線を補修する事は困難であった。 ・カーブミラーや注意看板についても、当て逃げや老朽化による交換が増加し、自治会要望の新設の件数に影響があった。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
危険箇所や補修対象箇所について、緊急性及び必要性を十分考慮しながら、コスト縮減に努め、補修や整備を進めていく。	
企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 交通安全施設の整備に係る事業の推進により、交通安全対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で、緊急性及び必要性を考慮し、効率的な事業の実施に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
放置自転車等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	9	放置自転車等対策事業	
担当課・係等					
都市計画課 交通政策係					

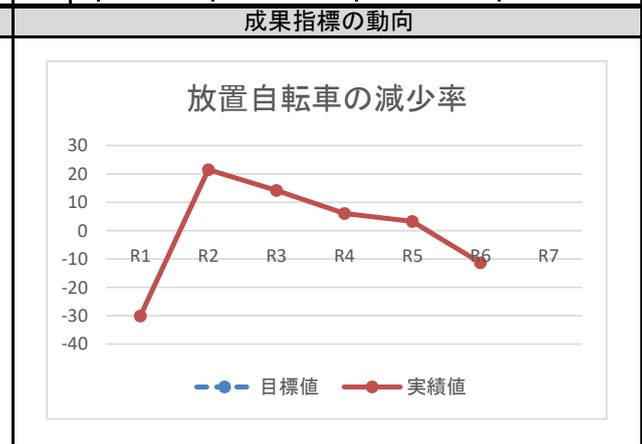
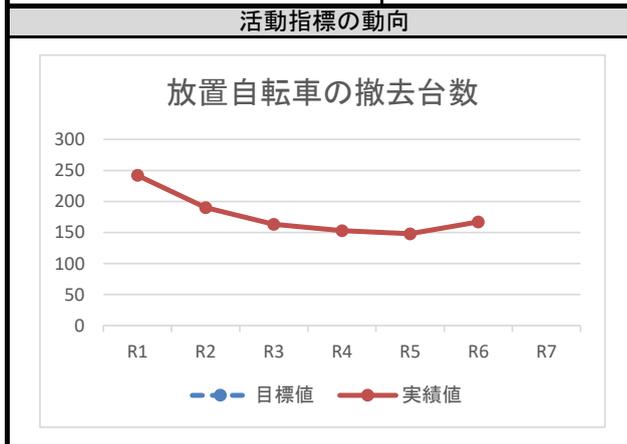
実施計画整理番号	
405010501	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られることを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車防止啓発活動 ・駅前放置自転車等の整理
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

放置自転車については、交通の支障及び街の美観を損なう等の影響を引き起こすため、茂原市自転車等放置防止に関する条例に基づき指導や撤去を実施し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	738	738	678	733	733	679			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	97	97	99	97	97	121			
	一般財源	千円	641	641	579	636	636	558			
人工数	人		0.4		0.35						
人件費	千円		3,065		2,795						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・委託により定期的に放置自転車等の撤去・整理を行う。 ・禁止区域標識や広報誌による周知、放置自転車クリーンキャンペーンでの啓発活動等を実施する。 	放置自転車の撤去台数	台	目標値 減少を目指します 実績値 153	目標値 減少を目指します 実績値 148	目標値 減少を目指します 実績値 167	目標値 減少を目指します 実績値	
	啓発活動数	回	目標値 62 実績値 53	目標値 62 実績値 52	目標値 52 実績値 54	目標値 52 実績値	
	成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
	放置自転車等を減少させることにより、歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られる。	放置自転車の減少率	%	目標値 増加を目指します 実績値 6.1	目標値 増加を目指します 実績値 3.3	目標値 増加を目指します 実績値 -11.3	目標値 増加を目指します 実績値



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
4	5	1	5	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	9	放置自転車等対策事業

整理番号
405010501

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市営自転車駐車で啓発活動を実施した。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人シルバー人材センターに委託、実施し、駅前の良好な都市景観と交通環境の確保を図った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の台数が増加していることから、効果的な啓発活動を実施し、自転車の利用マナーを向上させる必要がある。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人シルバー人材センターへ委託し、計画どおりに実施することができた。 ・自転車等駐車対策協議会については、問題となる案件が生じた場合に開催する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な啓発活動を実施するため、配布物や時間帯を工夫する。 ・放置自転車等整理業務については、今後も公益社団法人シルバー人材センターへ委託し、実施する。 ・自転車等駐車対策協議会については、必要に応じ開催する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>放置自転車等整理業務の委託により、駅前の良好な都市景観と交通環境の確保に一定の成果があったと認められる。放置自転車の台数減少につながるよう、効果的な啓発活動を実施し、自転車の利用マナーの向上に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
自転車駐車場管理運営費					

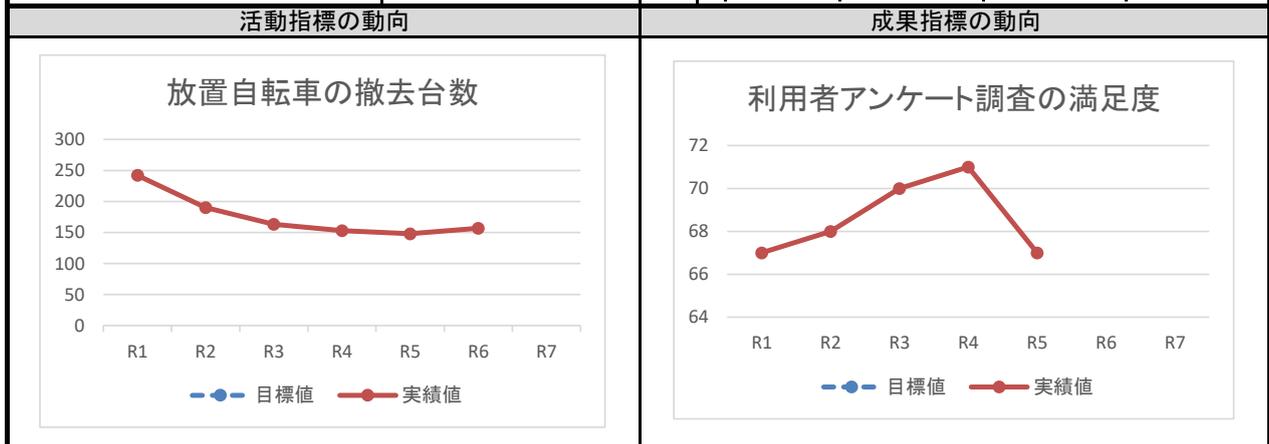
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	10	自転車駐車場管理運営費	
担当課・係等					
都市計画課 交通政策係					

実施計画整理番号	
405010502	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車駐車場を適正に管理することで、駅周辺の良好な交通環境が図られることを目指す。	自転車駐車場の管理運営を委託する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
駅周辺の良好な交通環境整備のため、JR茂原駅、新茂原駅に設置してある自転車駐車場を管理運営し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	38,444	38,444	38,052	38,440	38,440	38,356			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	29,868	29,868	30,210	29,740	29,740	30,729			
	一般財源	千円	8,576	8,576	7,842	8,700	8,700	7,627			
	人工数	人	0.6			0.6					
	人件費	千円	4,597			4,791					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
指定管理者を指定し、自転車駐車場の管理運営を行う。	放置自転車の撤去台数	台	目標値 減少を目指します	目標値 減少を目指します	目標値 減少を目指します	目標値 減少を目指します
		実績値	153	148	167	
成果	成果指標	%	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値 増加を目指します	目標値 増加を目指します	目標値 増加を目指します	目標値 増加を目指します
駅周辺の良好な交通環境を整備し、秩序ある駐車の確保を図る。	利用者アンケート調査の満足度	実績値	71	67	65	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	5	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	自転車駐車場管理運営費

整理番号
405010502

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、外灯修繕等を実施し、施設の環境整備を図った。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施した。 ・自転車駐車場用地借上げについては、東日本旅客鉄道株式会社より、施設運営に必要な用地の借上げを行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、必要な修繕等を行うなど、引き続き施設の環境整備を図る必要がある。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、計画どおり実施できた。 ・自転車駐車場用地借上げについては、施設の利用状況を勘案して、用地の借上げを行う必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、指定管理者とも連携を図りながら施設の状況を把握し、必要な環境整備を図る。 ・自転車駐車場業務委託については、引き続き公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施する。 ・自転車駐車場用地借上げについては、利用の少ない第4自転車駐車場の廃止及び借地の返却を行うことで、コストの削減を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 自転車駐車場の管理運営委託により、交通安全対策の推進に一定の成果があったと認められるが、放置自転車の撤去台数が増加していることから、利用状況の把握に努め、適正な管理運営に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	6	1	1	消費生活	消費者の自立支援
実施計画事業名					
消費生活相談事業					

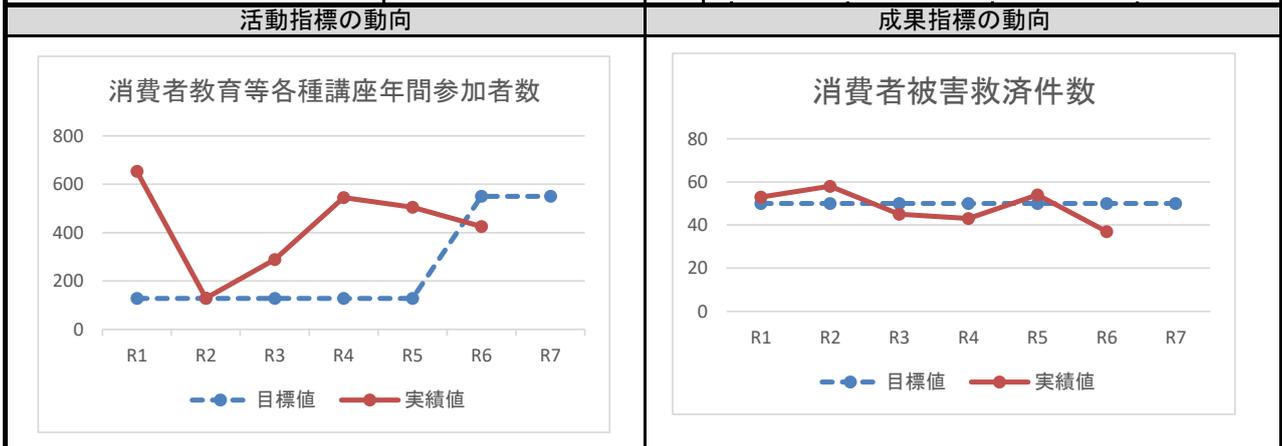
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	14	02	消費生活相談事業	
担当課・係等					
生活課 庶務相談係 消費生活センター					

実施計画整理番号	
406010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努めるとともに、消費者の保護を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談の実施 消費生活講座の実施 出前授業の実施 広報等による情報提供
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>消費者被害の減少に向け、市民への啓発活動や相談員の研修を実施することで、市民の消費生活に関する知識向上及び相談員の資質向上に繋がり、ひいては施策「消費者の自立支援」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	8,671	8,978	8,934	9,870	9,870	8,526		
国補助		千円									
県補助		千円	689	705	697	889	900	684			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	7,982	8,273	8,237	8,981	8,970	7,842			
	人工数	人	1.1			1.1					
	人件費	千円	8,428			8,784					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<p>・トラブルを未然に防ぐため、各種講座を行う。</p> <p>・広報誌等によるセンター案内、ウェブサイトへの情報掲載を実施する。</p>	消費者教育等各種講座年間参加者数	人	維持します	維持します	550	550
		実績値	545	505	425	
	消費者トラブル未然防止のための情報発信数	回	維持します	維持します	維持します	維持します
		実績値	33	33	29	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<p>消費者の知識向上に努めるとともに、消費生活相談体制の充実を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。</p>	消費者被害救済件数	件	維持します	維持します	維持します	維持します
		実績値	43	54	37	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	6	1	1	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	消費生活相談事業

整理番号
406010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・消費生活相談を平日毎日実施した。
 ・相談員及び外部講師による消費生活講座を実施した。(参加者数:第1回33名、第2回35名、第3回23名)
 ・市内中学1年生を対象に出前授業を実施し、消費者教育の推進に努めた。(3校)
 ・広報誌などにより、消費生活センターの周知に努めた。(広報もばら1回、センターだより文書回覧2,779部・市内中学1年生650部配布・市内公共施設9ヶ所150部配布)
 ・市公式ウェブサイト、SNS、広報もばら等に現在流行している消費者被害の情報を掲載し、注意喚起を図った。
 (ウェブ18回、SNS2回、広報もばら5回、センターだより1回、ポスター掲示等3回)

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・成人年齢の引き下げにより、若年者のトラブル増加が見込まれることから、今後も消費者教育の推進を図っていく必要がある。
 ・消費生活相談や講座等の実施により、消費者トラブルの未然防止及び被害救済が図られたが、複雑多様化する消費者問題に対し、より一層の注意喚起を行う必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・スマホやネットの普及により、小中学生が消費者トラブルに巻き込まれる事例も増加していることから、市内全中学校での出前授業の実施や、小中学生向けにチラシ配布などの啓発活動を行うことで、消費者教育の充実・強化に努める。
 ・複雑多様化する消費者問題に対し、あらゆる年代に周知するため、様々な方法で情報発信を行い、自立した消費者の育成に努める。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 消費生活相談等による消費者教育により、消費者被害救済に一定の効果があったものと考えられるが、消費者教育等各種講座の年間参加者数及び消費者被害救済件数が減少していることから、複雑多様化する消費者問題に対し効果的な情報発信に努めていただきたい。